

チャガヤツリ (茶蚊帳吊り)

名前の意味：穂^{いみほ}が茶色いカヤツリグサの意味。カヤツリグサは子供が茎^{くき}を割いて、蚊帳^{かや}の形にして遊んだ^{あそ}ので、名付けられた。

分類：単子葉類、カヤツリグサ科、カヤツリグサ属

(カヤツリグサ科の栽培^{さいばいしょくぶつ}植物：パピルス)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑の縁

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた(自生^{じせい})

特徴：根元から数本^{なな}斜め^たに立ち上がる^{くき}茎、花火のような穂^ほ

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：退化してない

花の時期：7—10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：カヤツリグサとは、果えいの大部分に赤い色が入ることと、その先^{とが}がさらに尖ることによって区別できる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)